

9 バージョンアップ

本章では、パッケージソフトを定期的にバージョンアップする「自動バージョンアップ」と、利用者が任意に行う「手動バージョンアップ」の操作を説明します。

9.1 自動バージョンアップ

(1) 機能概要

オプション設定にて、バージョンアップ設定が【自動】に設定されている場合、自動的に NACCS 掲示板から新しいプログラムがダウンロードされ、バージョンアップが行われます。

パッケージソフト起動時、NACCS 掲示板からバージョン情報を取得し、バージョンチェックが行われます。更新が必要な場合には新しいプログラムのダウンロードが自動的に行われます。ダウンロードした新しいプログラムは、次回パッケージソフト起動時に反映されます。

また、連続してパッケージソフトを利用している場合でも、一日一回バージョンチェックが行われます。

その他、業務画面や帳票についても自動的にバージョンアップが行われます。

(2) 操作

(A) 自動バージョンアップ設定

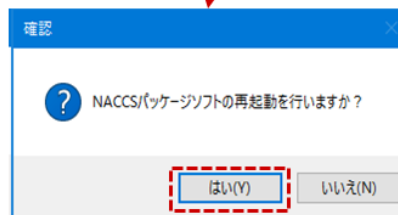
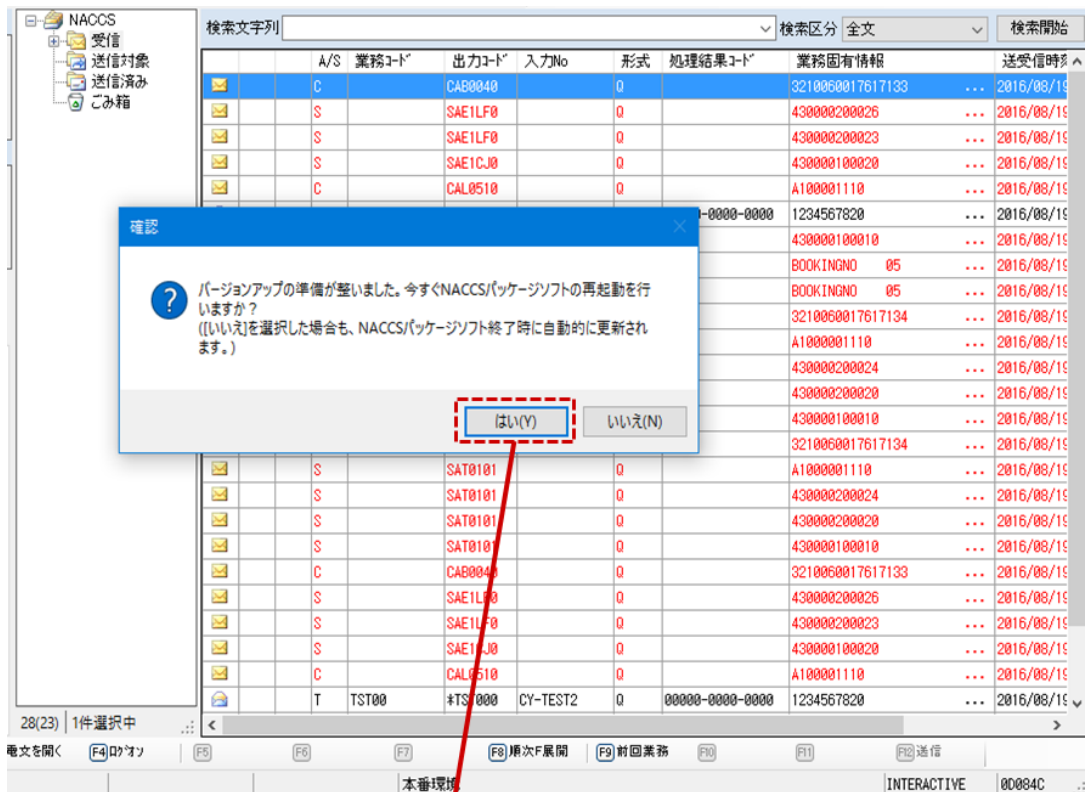
1. 【オプション設定】ダイアログの【端末】タブページを開きます。
2. バージョンアップ設定の【自動】を選択し、【OK】ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'オプション設定' (Option Settings) dialog box with the '端末' (Terminal) tab selected. The 'バージョンアップ設定' (Version Update Settings) section is highlighted with a red dashed box. The '自動' (Automatic) radio button is selected, and the '手動' (Manual) radio button is unselected. Below the radio buttons, there is a checkbox for '指定の場所からバージョンアップを行う' (Perform version update from specified location), which is currently unchecked.

(B) 自動バージョンアップの反映

自動的に新しいプログラムのダウンロードが完了すると、反映するために再起動を行います。

1. 再起動を促すダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
2. 再起動確認ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
3. パッケージソフトが再起動し、バージョンアップされます。



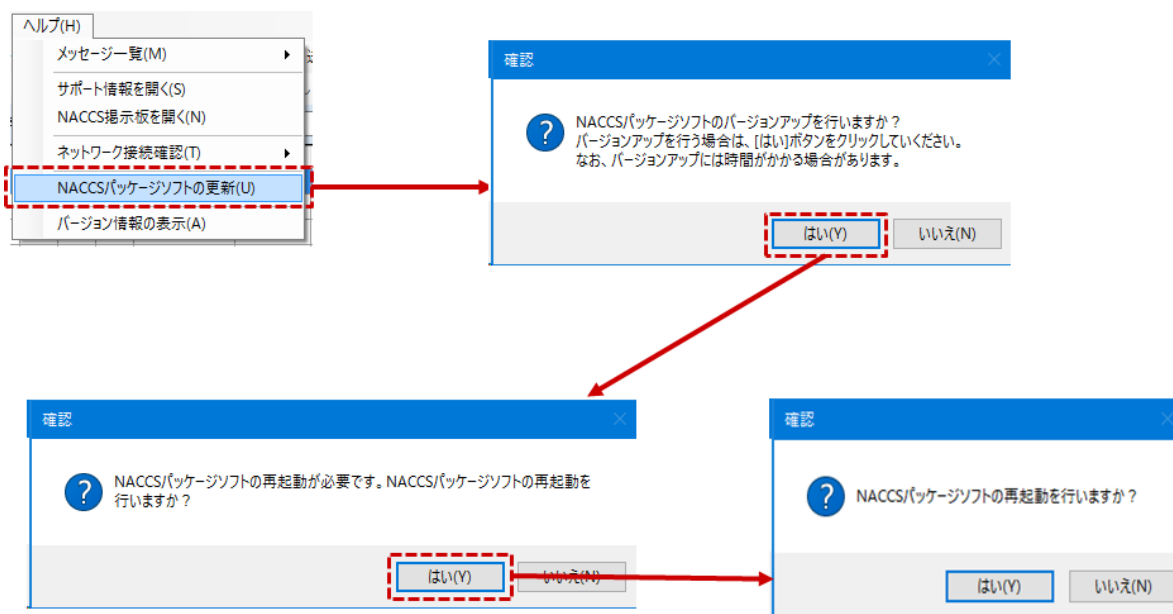
9.2 手動バージョンアップ

(1) 機能概要

パッケージソフトのバージョンアップを手動で行います。

(2) 操作

1. メインメニューの [ヘルプ | NACCS パッケージソフトの更新] を選択します。
2. バージョンアップ確認ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
3. 新しいプログラムのダウンロードが完了すると、再起動を促すダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
4. 再起動確認ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
5. パッケージソフトが再起動し、バージョンアップされます。



9.3 NACCS 掲示板に接続できない環境でのバージョンアップ

※ NACCS 掲示板に接続できる場合、この操作を行う必要はありません。

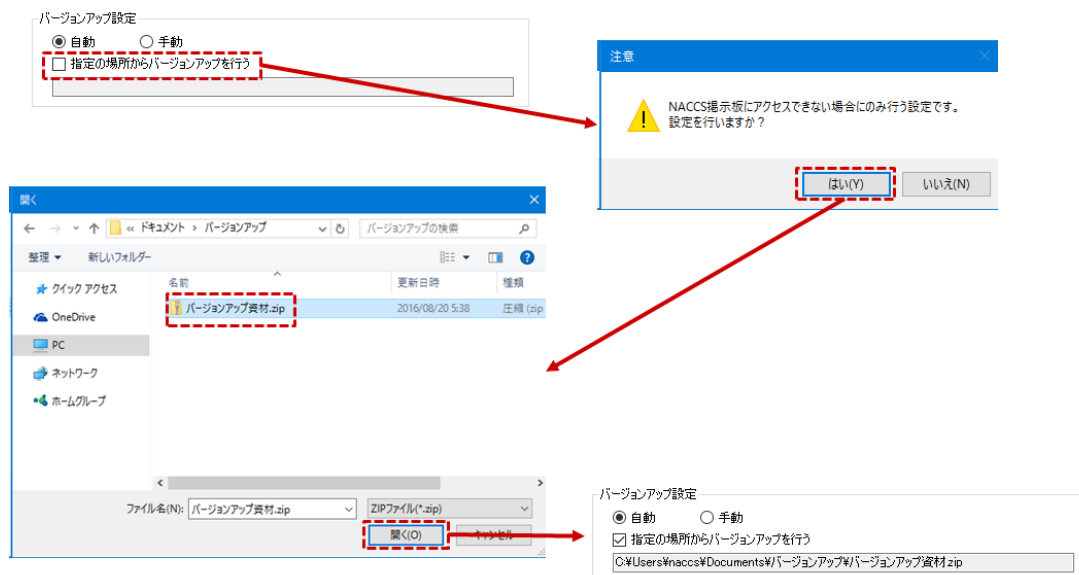
(1) 機能概要

NACCS 掲示板に接続できない利用者は、別途 NACCS センターから提供されるバージョンアップファイル (zip ファイル) を用意し、接続できる場所 (アクセス可能なファイルサーバ等) へ配置します。[オプション設定 | 端末] タブの [指定の場所からバージョンアップを行う] でその場所を指定することで用意したファイルでバージョンアップを行うことができます。

[指定の場所からバージョンアップを行う] でネットワークパスの指定が可能となっているため、ネットワーク上の共有フォルダーを指定することで、複数端末を利用している場合でもすべての端末にバージョンアップファイルを個別に配布する必要はありません。

(2) 操作

1. [オプション設定] ダイアログの [端末] タブページを開きます。
2. バージョンアップ設定の [指定の場所からバージョンアップを行う] にチェックを入れます。
3. 注意喚起ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
4. ファイルを開くダイアログが表示されますので、対象のバージョンアップファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。
5. [指定の場所からバージョンアップを行う] にチェックが入り、選択したファイルが登録されます。



- 設定後は自動・手動どちらの方法でもバージョンアップができます。